

# ひょうたんいけ

桜台小 学校だより  
令和5年9月8日  
第12号



## 1学期実施「学校アンケート」結果より

よりよい学校づくりのために、1,2学期にそれぞれ子どもたちに向けた「学校アンケート」を実施しています。今回、1学期に実施しました児童用アンケートについて、結果をまとめ、分析を行いましたので、お知らせします。今後の生活指導や学習指導にいかしていきます。(％は肯定的意見の割合です)

### ◇「学校は楽しいか」(91.2%)「授業はわかるか」(95.4%)「意見を言ったり、意見を聞いたりしているか」(91.5%)

肯定的意見の割合から、学校生活を充実して過ごすことができ、前向きに授業に取り組み、学習内容の理解も概ねできていることがわかります。しかし、学級の6%にあたる1人か2人の子どもは、否定的な意見をあげていて、そういった子どもの存在を意識しながら学校運営を進めていく必要があると捉えています。

### ◇「友だちのことを考えて行動しているか」(96.2%)「いじめ」や「なかまはずし」はいけないことだ(98.5%)「自分のことは大切だと思うか」(89.2%)

子どもの実態に合わせた道徳の授業や特別活動、「人(相手)を大切にすること」という教職員の意識、地域や保護者の皆様から温かく見守られているという日常が、子どもの肯定的な回答につながっていると捉えています。「友だちのことを考えて行動しているか」「『いじめ』や『なかまはずし』はいけないことだ」という問いかけについては、肯定的な意見が非常に多い結果となりました。今後は心がけや観念的なことにとどまらず、日常生活において、実際に行動へとつながられる子どもが増加するような意識付けを行いたいと考えています。

「自分のことは大切だと思うか」については、昨年度から5.8%低くなり、90%を切りました。学校が楽しい、自分のことが大切だと子どもたちが感じられるよう、自己肯定感を高められるような手立てを考え、2学期取り組んでまいります。

### ◇「運動することは好きか」(88.1%)「病気やけがをしないように気をつけて学校生活を送っているか」(94.6%)

昨年度は、体育の授業だけではなく、屋外での活動制限が緩和してきたことで子どもの運動することに対する肯定的な意見の割合が増加しましたが、今年度については、新型コロナウイルス感染症の流行がみられ、学年閉鎖があったり、暑さ指数(WBGT値)が運動中止の3以上になる日が多かったりして、子どもたちが外で遊べない、体育の授業(水泳含む)ができない状況が1学期から2学期現在にかけて多くみられています。今後、運動会への取組も始めますが、熱中症対策に力を入れつつ、現状改善に向けて取り組んでいきます。桜中学校の先生による乗り入れ授業として、2学期、5年生に体育の授業をしていただきます。

### ◇「決まりを守って学校生活を送っているか」(93.8%)「行事や活動にしっかり取り組んでいるか」(96.9%)

始業式など校長からの話では、「当たり前のことを当たり前ができるように」との話がいつもしています。「決まりを守って学校生活を送っているか」については昨年度も2%下がり、今年度さらに1%下がりました。「なぜきまりがあり、守らなければいけないのか」という根本に戻って、指導を改善していきます。今年度から制約のない行事や活動が戻ってきましたので、2学期も「楽しく安全に」を第一に、さまざまな学校学年行事等に取り組んでいきます。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

### ◇「学校の様子を家で伝えているか」(79.6%)

昨年度より3%程度低くなり、70%台になりました。学校での様子を学校だよりでもこまめにお知らせするとともに、ホーム&スクールを活用して学級の様子をできるだけ早くお知らせしていきたいと考えています。ご家庭でも学校だよりやホーム&スクールを使って、「きょうは学校でこんなことあったんだね。どうだった? 楽しかった?」など、問いかけていただくことで、子どもからの話をひき出してみてください。よろしくお願いいたします。

9月7日  
第2回桜台小学校  
CS会議開催

